



群馬県立がんセンター

消化器外科通信

Vol.14
2025.12.



消化器外科部長 宗田 真

第104代の新たな内閣総理大臣が就任し、強い経済への成長期待などから高い支持率が報道されている一方で、現在までの物価や人件費の高騰から病院経営は危機に瀕している。国公私立81の大学病院での大幅な赤字経営の実態から、今後の高度医療の提供が難しくなる可能性があることが連日ニュースで報道され、今後は診療報酬の見直しや補助金等による持続的な支援が必要な状況となっている。こうした中だからこそ外科医として患者さん一人一人の健康にしっかりと目を向けて最善の高度医療を実施し、患者さんの健康寿命の延長を目指す必要があります。

今回の外科通信では、ロボット支援手術の現状、特に大腸癌手術について、現在行われている臨床試験の紹介をさせて頂きます。

1.手術支援ロボット ダビンチ症例数と現状

◆ 2019年9月から2025年10月までのダビンチ手術実績

食道癌 121例、胃癌 178例、結腸癌 129例、直腸癌 370例、肝臓腫瘍 2例

その他、胸腔鏡や腹腔鏡を用いた低侵襲手術も積極的に行っております。

◆ダビンチ手術者人数

食道癌 2名、胃癌 3名、大腸癌 4名、肝臓腫瘍 1名

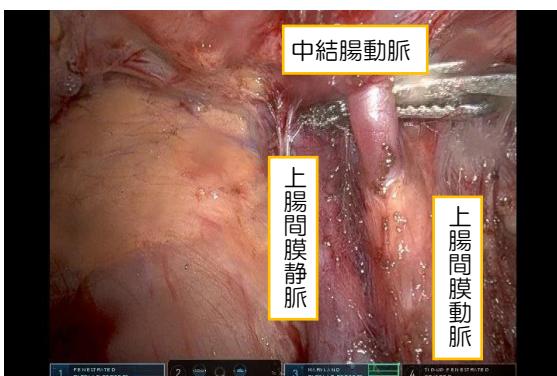
【日本ロボット外科学会専門医】

国際B級:1名 国内A級:1名

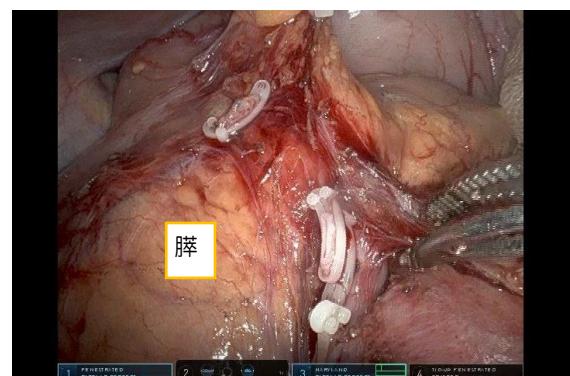
2.大腸癌治療

これまで直腸癌の症例についてはほとんどの症例をロボット支援下で行ってきましたが、昨年 DaVinci Xi 2台目が導入されて以降、結腸癌でロボット支援手術の適応を拡大しています。現在ではほぼ全ての症例がロボット支援手術の適応となっています。高難度とされる横行結腸癌や脾湾曲部付近の下行結腸癌などの症例もロボット支援下に行っており、ロボットを用いる事で安全により精度の高い郭清が可能となりました。

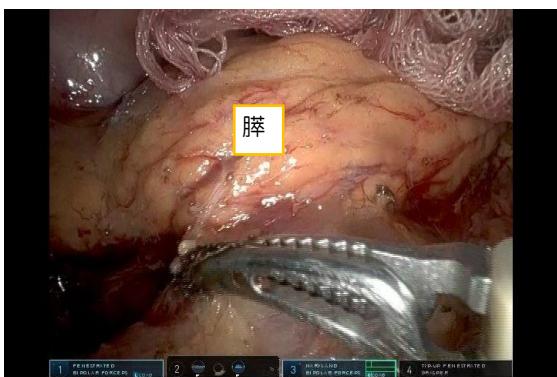
【横行結腸切除でのD3郭清】



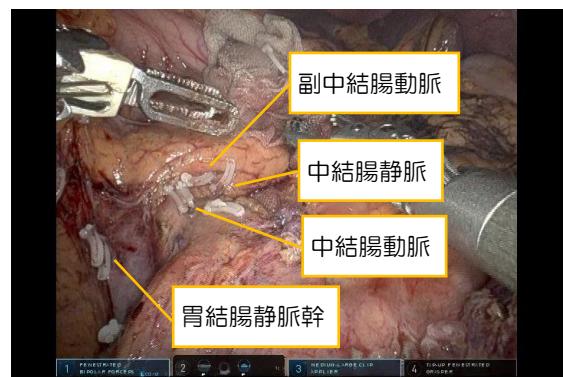
中結腸動脈を根部で切離



脾下縁から結腸間膜を剥離



郭清組織が残らないよう脾から剥離を進める



郭清終了

5.臨床試験対象の患者様の紹介をよろしくお願ひします

—登録中の臨床試験一覧—

【食道癌】

IMPULSE

通過障害合併Stage IVB 食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法と放射線(化学)療法後の免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法の実用的ランダム化第Ⅱ相試験

【胃癌】

JCOG2204

大型3型・4型胃癌に対する術前化学療法としての5-FU+レボホリナート+オキサリプラチナ+ドセタキセル(FLOT)療法とドセタキセル+オキサリプラチナ+S-1(DOS)療法の有効性を探索するランダム化第Ⅱ相試験

JCOG2301

化学療法が奏功した診断時切除不能cStage IVB/pStage IV胃癌に対する Conversion surgery の意義に関するランダム化比較第Ⅲ相試験

【大腸癌】

JCOG1805

「再発リスク因子」を有するStage II 大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関するランダム化第Ⅲ相比較試験

JCOG2207

臨床病期Ⅲの下部直腸癌に対する total neoadjuvant therapy (TNT) および選択的側方リンパ節郭清の意義に関するランダム化比較第Ⅲ相試験

【お問い合わせ先】

群馬県立がんセンター 消化器外科 宗田 真

住所: 〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1 TEL:0276-38-0771(代表) FAX:0276-38-0614

・診療予約等につきましては当院ホームページをご覧ください

URL: <http://www.gunma-cc.jp/>

TEL:0276-38-0771(代)

予約専用電話:0276-38-0762



～お知らせ～

群馬県立がんセンターホームページに動画を掲載中

“ロボット支援 ダビンチXi 2台目導入”

“「知っておきたい大腸がんのコト」”(群馬県デジタル市民公開講座)

是非ご覧ください！

[【URL】 <https://www.gunma-cc.jp/pages/4/138/156/>](https://www.gunma-cc.jp/pages/4/138/156/)



スマートフォンやタブレットでご視聴の場合は、Wi-Fi環境での御利用を推奨します。
なお、発生したデータ通信費用について当院は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。